



代表幹事韓国ミッション報告書

2023年7月28日（金）
韓国・ソウル

2023年9月

公益社団法人 経済同友会

目次

はじめに.....	1
1. 日程.....	2
2. 参加者.....	3
3. 面談概要.....	4
(1) 韓日議員連盟所属国会議員との昼食懇談会.....	4
(2) IT系スタートアップ企業経営者との懇談会.....	7
(3) 秋慶鎬（チュ・ギョンホ） 経済副総理兼企画財政部長官表敬・懇談.....	10
(4) 韓国貿易協会幹部との懇談会.....	11
(5) 全国経済人連合会（全経連）主催夕食懇談会.....	13
参考：各懇談の様様（写真）.....	16

はじめに

経済同友会は、2023年7月28日（金）、韓国・ソウルに代表幹事ミッションを派遣した。私が団長を、玉塚元一副代表幹事／グローバル化推進委員会（日韓交流担当）委員長、岩井睦雄副代表幹事、高島宏平副代表幹事が副団長を務め、団員8名、事務局3名を含む総勢15名が参加した。

私は、本年4月の通常総会での代表幹事就任挨拶で、すぐに着手するテーマの一つに「グローバルとの連携」を掲げた。その中でも特に重視したのが日韓関係である。戦後の両国間のパラダイムを一変させようとする力強いリーダーシップの下、日韓の対話が始まった機を逃すことなく、それを強力にバックアップすべく、経営者同士が交流する枠組みを早急に立ち上げたい旨を宣言した。

これを受け、代表幹事就任後初の海外ミッションとして韓国を選んだ。本会が韓国にミッションを派遣するのは2010年5月以来13年ぶりであり、代表幹事ミッションとしては初めてのことである。

今回のミッションは、副首相や産業通商資源相、国会議員、主要大企業や主要経済団体のトップなど政・官・産業界のリーダーに加え、韓国を代表するIT系スタートアップ企業の若い経営者と対話を行ったことが大きな特徴であり、それぞれの懇談の場では、日韓の共通課題や今後の連携・協力の可能性について率直な意見交換を行うことができた。

本会では、今回のミッションを出発点とし、グローバル化推進委員会を中心に、他の関連委員会との連携も図り、スタートアップ交流や共通の課題解決に関する対話を継続し、日韓関係の重層的な深化に貢献していきたいと考えている。

最後に、今回のミッションの実現にあたっては、韓国ロッテグループの重光昭夫会長に全面的なご支援・ご協力を頂戴した。また、スタートアップ経営者との対話については、Daum創業者である李在雄（イ・ジェウン）氏に人選面で多大なご協力をいただいた。この場をお借りし、ご両名、並びに本ミッションでお世話になったすべての皆様に心からの感謝の意を表したい。

経済同友会代表幹事 新浪 剛史

1. 日程

2023年7月28日(金)

時間	内容
12:00~13:40	韓日議員連盟所属国会議員との昼食懇談会 (於 ロッテホテルソウル「アテネガーデン」)
	鄭鎮碩(チョン・ジンソク) 韓日議員連盟会長 金碩基(キム・ソッキ) 韓日議員連盟幹事長兼副会長 裴賢鎮(ペ・ヒョンジン) 韓日議員連盟幹事 重光昭夫 韓国ロッテグループ会長(同席)
13:50~15:10	IT系スタートアップ企業経営者との懇談会 (於 ロッテホテルソウル「エメラルド・ルーム」)
	キム・スルア Kurly 創業者/代表 キム・チャンハン Krafton 代表 キム・ジュンユン Yanolja 代表 パク・ジェウク Socar 代表 ベ・ギシキ Ridi 創業者/代表
	※移動
16:00~16:30	秋慶鎬(チュ・ギョンホ) 経済副総理兼企画財政部長官 表敬・懇談 (於 政府総合庁舎)
	※移動
17:15~17:50	韓国貿易協会幹部との懇談会 (於 ロッテホテルソウル「ビジネス・コンファレンスルーム」)
	具滋烈(クリストファー・コー) 韓国貿易協会会長(LSグループ前会長) 趙顯俊(チョ・ヒョンジュン) 韓国貿易協会副会長(ヒュンスングループ会長) 金起鉉(キム・ギヒョン) 韓国貿易協会常務 重光昭夫 韓国ロッテグループ会長(同席)
18:00~20:00	全国経済人連合会(全経連)主催夕食懇談会 (於 ロッテホテルソウル「エメラルド・ルーム」)
	<来賓> 李昌洋(イ・チャンヤン) 産業通商資源部長官 <主な出席者(歓迎挨拶・乾杯者のみ記載)> 金秉準(キム・ビンジョン) 全経連会長代行 重光昭夫 全経連副会長(韓国ロッテグループ会長) 具滋烈(クリストファー・コー) 韓国貿易協会会長(LSグループ前会長)

2. 参加者

■ 団長

新浪 剛史 代表幹事（サントリーホールディングス 取締役社長）

■ 副団長

玉塚 元一 副代表幹事・グローバル化推進委員会（日韓交流担当）委員長
（ロッテホールディングス 取締役社長）

岩井 睦雄 副代表幹事（日本たばこ産業 取締役会長）

高島 宏平 副代表幹事（オイシックス・ラ・大地 取締役社長）

■ 団員

近藤正晃ジェームス 幹事（国際文化会館 理事長）

田中 良和 オープンイノベーション委員会 委員長
（グリー 取締役会長兼社長）

本間 真彦 オープンイノベーション委員会 委員長
（インキュベイトファンド 代表パートナー）

南 壮一郎 オープンイノベーション委員会 委員長
（ビジョナル 取締役社長）

武藤 真祐 規制改革委員会 委員長（鉄祐会 理事長）

上野山勝也 企業のDX推進委員会 副委員長
（PKSHA Technology 代表取締役）

今村 久美 認定NPO 法人カタリバ 代表理事

齋藤 弘憲 常務理事

団員 計 12 名

■ 事務局

稲垣 直洋 政策調査部 調査役

亀山綾希子 政策調査部 マネジャー

三浦健太郎 代表幹事補佐

団員・事務局 計 15 名

3. 面談概要

以下は、メディア公開部分（挨拶等）を中心に、事務局文責で概要をまとめたものである（メディア非公開部分については、主なポイントのみ、発言者が特定されない形で記載している）。

（1）韓日議員連盟所属国会議員との昼食懇談会

【日時】

2023年7月28日（金）12:00～13:40

【場所】

ロッテホテルソウル「アテナガーデン」

【韓国側参加者】

鄭鎮碩（チョン・ジンソク） 韓日議員連盟会長

金碩基（キム・ソッキ） 韓日議員連盟幹事長兼副会長

裴賢鎮（ペ・ヒョンジン） 韓日議員連盟幹事

重光昭夫 韓国ロッテグループ会長（同席）

【次第】

レセプション

記念撮影

歓迎の辞：鄭鎮碩（チョン・ジンソク） 韓日議員連盟会長

歓迎の辞：重光昭夫 韓国ロッテグループ会長

答 辞：新浪剛史 経済同友会代表幹事

団体説明：玉塚元一 経済同友会副代表幹事／
グローバル化推進委員会（日韓交流担当）委員長

挨拶：金碩基（キム・ソッキ） 韓日議員連盟幹事長兼副会長

挨拶：裴賢鎮（ペ・ヒョンジン） 韓日議員連盟幹事

自己紹介：日本側参加者

昼食・意見交換

閉会の辞：新浪剛史 経済同友会代表幹事

【概要】

（a）歓迎の辞：鄭鎮碩（チョン・ジンソク） 韓日議員連盟会長

- 昨年4月に尹大統領特使として訪日した時は、国交正常化以来最悪の韓日関係と言われていたが、この1年で相当大きな変化があった。シャトル外交が12年ぶりに再開し、正常化の流れに乗っている。
- 韓日両国は、1つの細い小川を挟んだ隣国である。未来世代の目線で問題を見つけ、解決していくことが重要であり、これから先も国難が多々あると思うが、将来世代のために努力すれば、問題も最小化できるはず。

- 経済同友会には、ぜひ経済協力で韓日関係改善の先頭に立ち、両国のさらなる経済発展につなげて欲しい。

(b) 歓迎の辞：重光昭夫 韓国ロッテグループ会長

- 本年 3 月の首脳会談を機に、韓日関係は以前と異なる新しいものになった。国際的な外交・安全保障面での協力はもちろんのこと、経済協力を通じて、韓日関係がさらに発展することを期待している。

(c) 答辞：新浪剛史 経済同友会代表幹事

- 日韓関係をより深いものにするため、今回訪問させていただいた。現在、世界は歴史の転換点に来ており、地域の安定を図る上で、日韓関係は非常に重要である。もっと交流し、さらに関係改善を図るべきである。そのためには何とんでも経済であり、両国が一緒に経済をレベルアップしていく必要がある。
- 日韓関係は大変難しい状況から、尹大統領が行動し、岸田総理がそれに応えたことで今に至っている。尹大統領のリーダーシップは素晴らしく、我々も学ぶべきことが多い。
- 今回のミッションを契機に、経済をより向上させるため、日韓が協力していく必要があることを日本政府にも伝えたい。
- 今回、若い経営者もミッションに参加している。韓国の若い経営者とも交流していきたいと考えている。

(d) 挨拶：金碩基（キム・ソッキ） 韓日議員連盟幹事長兼副会長

- 今年 3 月の尹大統領の英断により、関係正常化の方向に向かい、冷え切っていた韓日関係は春を迎え、活発な交流が進んでいる。今年 5 月の広島での韓日首脳会談に鄭会長と共に同行し、両首脳が関係改善に非常に強い意志を持っていることを肌で感じた。また、輸出規制の撤廃、ホワイト国への復帰、通貨スワップの再開、広島原爆慰霊碑の共同参拝など、両首脳が関係改善のための努力を行動で示している。Win-Win の関係に向けて、多方面で協力関係を強化する必要がある。
- 今回の懇談会をきっかけとし、韓日の政界・経済界が一緒になって未来に向けた連携ができることを期待している。

(e) 挨拶：裴賢鎮（ペ・ヒョンジン） 韓日議員連盟幹事

- 未来世代に向けて愛情を育む関係になっていくことが望ましい。昨年、尹大統領の広報官として訪日した際、関係改善に向けた心配の声を日本側か

ら多くいただいた。今や、両リーダーの英断により、関係改善されつつあり、非常に嬉しい限りである。近くて遠い国から、兄弟のような関係になれるよう、これからも交流していきたい。

(f) 主な発言要旨

- 韓国のソフトパワーは非常に素晴らしい。日韓のソフトパワーも改善に貢献していると感じている。
- コロナ前の数字になるが、韓国から日本への観光客は 750 万人に対し、日本から韓国への韓国客は 250 万人であり、人口比で見ると 6分の1である。ぜひもっと韓国に観光に来ていただきたい。
- 大きな課題として、エネルギーコストの高さがある。新たなエネルギー政策を日韓で一緒に議論する必要がある。
- エネルギー問題の他にも、気候危機にも直面している。生き残るための戦いであり、両国が一緒に行動する必要がある。
- 米中覇権争いがある中で、自由民主主義、自由経済を共有する国で連携する必要がある。半導体や二次電池など、日米韓で協力する時代である。
- 韓国の釜山が 2030 年の万博に立候補しており、ぜひ支持をいただきたい。
- 韓日関係の未来を見据えた議論の際には、海底トンネルについても議題に上げていきたい。
- 現在、両国の千年の古都である慶州と京都を結ぶ船道を構想している。両国の歴史・文化を感じながら観光していただける素晴らしいルートであると考えている。

(g) 閉会の辞：新浪剛史 経済同友会代表幹事

- 釜山での万博開催については、経済同友会としてもぜひ応援していきたい。日韓関係は、明るい未来志向かつ、不可逆的な方向で交流していくことが不可欠。これを契機にこれからも連携させていきたい。

(2) IT系スタートアップ企業経営者との懇談会

【日時】

2023年7月28日(金) 13:50~15:10

【場所】

ロッテホテルソウル「エメラルド・ルーム」

【韓国側出席者】

キム・スルア Kurly 創業者・代表

キム・チャンハン Krafton 代表

キム・ジュンユン Yanolja 代表

パク・ジェウク Socar 代表／韓国スタートアップ・フォーラム会長

ベ・ギンキ Ridi 創業者・代表

【次第】

記念撮影

司会進行：近藤正晃 ジェームス 経済同友会幹事

開会挨拶：新浪剛史 経済同友会代表幹事

自己紹介：出席者全員

意見交換

閉会挨拶：新浪剛史 経済同友会代表幹事

【参考】

■韓国スタートアップ・フォーラム(Korea Startup Forum)

2016年創立。スタートアップのビジネス環境改善に関する政策提言や支援活動を実施。会員数2,122社。

■Kurly

2015年創業、急成長を遂げるオンライン食品宅配サービス(ユニコーン)。

■Krafton

2007年創業、ゲーム開発大手。2021年上場(元ユニコーン)、時価総額2兆円達成。

■Yanolja

2005年創業、オンライン宿泊予約サービス(ユニコーン)。

■Socar

2011年創業、韓国初かつ最大のカーシェアリング・配車サービス。2022年上場(元ユニコーン)。

■Ridi

2009年創業、韓国最大の電子書籍サービス(ユニコーン)。

【概要】

(a) 司会進行：近藤正晃 ジェームス 経済同友会幹事

- まず、本懇談会の調整にご尽力いただいたイ・ジェウン氏(Daum 創業者)に敬意を表したい。彼から4つのメッセージがあった。第一に、韓日関係を未来志向にすることを望んでいること。第二に、私たちが解決できる共通の社会課題があること。第三に、それを実現するのは起業家のコミュニティであること。第四に、政治が揺れ動いても、起業家同士で個人的な絆

や友情を築き、困難な時期でも共通の問題と一緒に取り組むことができること、である。

- 本日は、彼が「韓国でベストの起業家達」と呼ぶ皆様に集まっていたことに感謝したい。

(b) 開会挨拶：新浪剛史 経済同友会代表幹事

- 良好な日韓関係が、地域秩序を安定させるための前提条件であると確信しており、より明るい未来に向けて日韓両国を一つの方向にまとめるためにリーダーシップを発揮された尹大統領に敬意を表したい。
- 本懇談では、スタートアップや起業家精神の重要性、特にスタートアップにおける若いリーダーシップの重要性も強調したい。
- 我々はテクノロジーだけではなく、ソフトパワーの海外展開についても韓国から学ぶことができ、それによって議論の幅が広がる。
- 双方がお互いに学び合い、お互いに実りある成果を得ることを期待しているが、今回は始まりに過ぎず、今後もこの対話を継続していきたい。

(c) 主な発言要旨

(今後の連携について)

- 定期的に対話していくことで、韓日のスタートアップがお互いの市場への参入を促進していきたい。
- 韓国スタートアップ・フォーラムでは、11月に韓国最大のスタートアップ・コンファレンスを開催する予定であり、日本の皆様を招待したい。韓国のエコシステムやユニコーン企業に出会っていただき、韓日の協力や関係構築につなげていきたい。

(ビジネスを通じた社会課題の解決／ソーシャルセクターの支援)

- 新浪代表幹事の提唱したこと（共助資本主義）は、社会課題の解決にビジネスがどう貢献できるかである。それには事業を通じて課題を解決することもあれば、NPOや社会起業家を支援することもある。韓国の起業家の方々が、ビジネスを通じて社会を変革したり、ソーシャルセクターを支援したりしていることに感銘を受けた。

(韓国のスタートアップエコシステム／大企業とスタートアップの関係)

- 韓国のスタートアップエコシステムは、10年ほど前から大きく変わった。スマートフォンが登場し、多くの若者が起業し、政府も大いに支援し、会社設立のリスクが低くなった。また、先輩起業家たちが後輩起業家を助け

るため、助言や投資を行っている。

- かつては失敗すると再挑戦が非常に難しかったが、政府は大企業に永遠に依存することは難しいことに気づき、ベンチャー投資に資金を割り当てるようになった。また、債務の個人保証の仕組みを見直し、多くの若い潜在的な創業者を解放した。政府の投入金額は、過去5年間で3倍に増えた。
- 韓国は優秀なエンジニアの不足が課題だが、成功したスタートアップを見て、新しいアイデアを試したいと考える才能ある人材が多く存在している。
- 大企業もCVCやオープンイノベーションを通じて、積極的にスタートアップと協力するようになった。

(スタートアップにおける女性活躍)

- 韓国でも企業の女性取締役比率は低く、韓国の創業者のうち女性は7~8%に過ぎない。
- 教育はもう問題ではない。女性の大学進学率は男性よりも高く、1990年代に生まれた人に限れば、適切な教育機会は与えられている。しかし、会社に入ると結婚や出産の問題が生じる。
- 女性の就業率と国の出生率の問題は相互に関連し、出生率を上げるには仕事と家庭を両立できる環境を韓国政府が整備する必要があるが、うまくいっていない。
- モバイル時代に入り、製品を紹介・販売するウェブサイトを開設すれば簡単に起業できるようになり、韓国では女性起業家が増えている。数字的にはまだ示されていないが、テクノロジーが仕事と家庭の両立に貢献していくかもしれない。

(日韓のスタートアップ連携)

- 米中には多くのユニコーン企業が存在するが、韓日など他の国々では少ない。ユニコーンをつくるには市場規模が小さいからである。韓日の経済や市場を結び付けることができれば、多くのユニコーンを育てる大きさとなる。
- 企業間の交流が韓日経済の成長エンジンになる可能性がある。その意味で、M&Aは非常に重要である。
- 日本市場でのビジネスを拡大したいと考え、買収対象となる日本企業を探しているがなかなか難しい。
- M&Aの出発点は関係構築であり、そのための機会を増やすべきである。

(3) 秋慶鎬（チュ・ギョンホ） 経済副総理兼企画財政部長官 表敬・懇談

【日時】

2023年7月28日（金）16:00～16:30

【場所】

政府総合庁舎

【面談者】

秋慶鎬（チュ・ギョンホ） 経済副総理兼企画財政部長官
重光昭夫 韓国ロッテグループ会長（同席）

【次第】

記念撮影

挨拶：秋慶鎬（チュ・ギョンホ） 経済副総理兼企画財政部長官

挨拶：新浪剛史 経済同友会代表幹事

意見交換

【概要】

- 本表敬・懇談は、メディア非公開の下で行われた。冒頭、秋経済副総理より、日本の経済界からの訪問は経済副総理になって初めてであり、本年3月の韓日首脳会談によってシャトル外交が復活し、韓日財務対話も7年ぶりに開催される中、経済交流の活発化に向けて尽力していきたい旨の発言があった。
- これを受け、新浪代表幹事からは、日韓関係の重要性から代表幹事就任後初の海外ミッションとして韓国を選んだこと、尹大統領のリーダーシップによって関係改善が進む中、エネルギー、サステナビリティ、少子化など両国の共通課題についてお互いに解決していきたいこと、今回のミッションにはスタートアップ経営者やNPO代表も参加していること、経済同友会として未来志向の日韓関係を築くために、リーダーシップを発揮していきたいこと、などを説明した。
- 続く意見交換は、日韓スタートアップの連携、日本と韓国の文化コンテンツの相互輸出などをテーマに行われた。

(4) 韓国貿易協会幹部との懇談会

【日時】

2023年7月28日(金) 17:15~17:50

【場所】

ロッテホテルソウル「ビジネス・コンファレンスルーム」

【面談者】

具滋烈(クリストファー・コー) 韓国貿易協会会長(LSグループ前会長)
趙顯俊(チョ・ヒョンジュン) 韓国貿易協会副会長(ヒュンスングループ会長)
金起鉉(キム・ギヒョン) 韓国貿易協会常務
重光昭夫 韓国ロッテグループ会長(同席)

【次第】

代表挨拶: 具滋烈(クリストファー・コー)
韓国貿易協会会長(LSグループ前会長)
代表挨拶: 新浪剛史 経済同友会代表幹事
韓国貿易協会活動紹介
意見交換

【概要】

(a) 代表挨拶: 具滋烈(クリストファー・コー)

韓国貿易協会会長(LSグループ 前会長)

- 韓日首脳会談を機に、韓日経済界に追い風が吹く中、こうした有意義な交流ができることを嬉しく思う。
- 韓国貿易協会は日本との縁が深く、1946年の協会設立から2年後には、初の海外支部を日本に開設した。
- ただ、2021年に私が会長に就任した際、本協会が緊密なパートナー関係を結んでいる日本の経済団体がないことに驚いた。その後、今年5月に大阪で角元敬治関西経済同友会代表幹事をはじめとする経済界の皆様にお会いする機会があり、韓日の経済協力の方策について議論した。デジタル、クリーン・エネルギー、技術協力など様々な領域で連携や、そのための窓口・チャネルの必要性が浮上した。
- 本協会と経済同友会が緊密に連携できれば、多くのことが実現できると実感している。本協会では、関西経済同友会をはじめ、各地の経済同友会との連携を模索してきたが、東京の経済同友会が代表幹事ミッションを韓国に派遣するとの知らせに接し、期待感をもって本日を迎えた。
- 本日の懇談会が、両団体間で相互理解と協力の範囲とその深さを深める機会となることを期待している。

(b) 代表挨拶：新浪剛史 経済同友会代表幹事

- 今年 4 月に代表幹事に就任し、すぐに行うべきことのひとつであった韓国ミッションが実現した。未来を見据えて関係を強化していきたい。
- 日韓の良好なモメンタムをつくられたのは尹大統領であり、それによって我々も積極的に行動できるようになった。
- 両国が共通して頭を悩ませているエネルギー、サステナビリティ、少子化などの課題について、協力を進めることで課題解決に向かう一歩としていきたい。

(c) 主な発言要旨

(貿易)

- 韓国は自由貿易体制の恩恵を受けてきたが、ウクライナ紛争や米中対立などブロック経済化が進む中、これまでとは違う貿易構造を持つ必要があり、悩んでいる。
- 韓国の対中貿易依存度は約 25%であり、米中対立や半導体競争が深刻化する中で、中国依存を分散させる必要がある。

(スタートアップ連携)

- 今年 6 月に韓国貿易協会等の共催により、ベンチャー・スタートアップのイベントを行った。海外から 19 カ国 58 社のスタートアップが参加し、来場者は 2 万人を超え、大盛況であった。IT など韓国のスタートアップ企業と協力できることは多いのではないかと。オープンイノベーションについて、両団体で協力ができるのではないかと。

(海外展開／官民連携)

- 日本と比べ、韓国は最初からグローバル化を見据え、積極的に動いているように見える。特に、官民が優先分野を決め、一気に海外展開しているように思える。
- 韓国は豊かになりたいというハングリー精神で成長し、素早く行動に移すメンタリティーがあるかもしれない。また、日本には一定規模の国内市場があるが、韓国の国内市場は小さいため、最初から海外を見据えなければならない。
- 韓国には財閥が存在し、グローバルでの成功に向け、政府と一緒に戦略的な中長期計画を推進することができた。米国の経営者は短期思考になりがちだが、韓国財閥のオーナーは中長期的な計画を進められる。

(5) 全国経済人連合会（全経連）主催夕食懇談会

【日時】

2023年7月28日（金）18:00～20:00

【場所】

ロッテホテルソウル「エメラルド・ルーム」

【韓国側主要出席者】

李昌洋（イ・チャンヤン） 産業通商資源部長官

金秉準（キム・ビンジョン） 全経連会長代行

重光昭夫 全経連副会長（韓国ロッテグループ会長）

具滋烈（クリストファー・コー） 韓国貿易協会会長（LSグループ前会長）

崔泰源（チェ・テウォン） SKグループ会長

鄭義宣（チョン・ウィスン） 現代自動車グループ会長

鄭基宣（チョン・ギスン） HD HYUNDAI 社長兼 CEO

趙顯俊（チェ・ヒュンジュン）全経連副会長（ヒョスングループ会長）

金銃（キム・ユン） 全経連副会長（三陽 HD 会長兼 CEO）

李章漢（イ・ザンハン） 全経連副会長（チョンクンダンバイオ 会長）

コ・チョンソク Samsung C&T Corp. 共同社長・共同 CEO

【次第】

レセプション

記念撮影

歓迎の辞：金秉準（キム・ビンジョン） 全経連会長代行

歓迎の辞：重光昭夫 全経連副会長（韓国ロッテグループ会長）

答 辞：新浪剛史 経済同友会代表幹事

祝 辞：李昌洋（イ・チャンヤン） 産業通商資源部長官

乾 杯：具滋烈（クリストファー・コー） 韓国貿易協会会長（LSグループ前会長）

夕食懇談

【概要】

(a) 歓迎の辞：金秉準（キム・ビンジョン） 全経連会長代行

- 冷却した韓日関係から脱却し、新しい調和と協力の時代に向けて動き始めている。米中対立により、グローバルサプライチェーンが不安定になる中、韓日の企業が協力体制を強化する必要性が高まっている。
- 韓国のドラマや日本のアニメに象徴されるように、両国間で文化的親近感が生まれ、お互いの市場で高い評価を受けるようになっている。消費財の貿易が拡大すれば、国のブランドイメージ向上につながり、消費財貿易拡大のみならず、観光など人的交流の拡大にも効果をもたらす。
- グローバルサプライチェーンの再編、第4次産業革命など産業のパラダイムが急変する中で、両国企業が先端産業とグローバル分野で協力を強化すれば、大きなシナジー効果がある。最近、日韓の企業がアンモニアや水素など未来エネルギー分野で協力関係を結んだが、今後も多様な

未来産業、先端技術分野で力を結集し、Win-Win 関係が築かれることを期待している。

- 政府にも、こうした韓日企業協力の雰囲気広がることへの関心を持ち、様々な支援を惜しまないことをお願いしたい。
- 最も近い隣国として、韓国と日本の友情が永遠に続き、新しい未来を開拓していけることを期待している。

(b) 歓迎の辞：重光昭夫 全経連副会長（韓国ロッテグループ会長）

- 経済同友会の皆様に韓国にお越しいただき、経済人の大切な出会いの場が実現できたことに感謝。今回の行事を通じて、経済人の交流が一層深まり、韓日関係がさらに盤石なものになっていくようで心強い。今後も、こうした関係が持続し、韓日の経済が飛躍していくことを期待している。

(c) 答辞：新浪剛史 経済同友会代表幹事

- 本年 4 月に経済同友会代表幹事に就任した際、第一に掲げたのが日韓関係の大切さである。経済安全保障が重要になる中で、お互いが深く理解し合い、信頼関係をつくる必要がある。そこで、代表幹事としての初めての海外ミッションとして、韓国訪問が実現した。
- その実現にあたっては、重光昭夫韓国ロッテグループ会長に大変お世話になった。短期間の準備にあたり、重光会長をはじめ、全経連の皆様にも大変ご尽力いただいたことに感謝。
- 尹大統領のご英断により、岸田総理とのシャトル外交が再開した。日韓関係が本当に良くなれば、東アジア地域の安定は間違いない。
- 日韓関係をより良好なものにし、発展させていくために、民間の交流が欠かせない。企業経営者が率先して関係をつくる必要がある。
- 日本は、韓国と共通の課題を抱えている。経済安全保障、少子化、サステナビリティ、エネルギーなど、韓国の経営者の皆様と一緒に議論すれば、何らかの解が出てくると期待している。
- 今回は、スタートアップ経営者の皆様とも交流させていただいた。経済同友会は、経営者個人がそれぞれの思いを語ることをモットーにしており、日本を良くし、世界、特に東アジアを安定させていくことを考えている。
- 今回のミッションに参加したメンバーは、大企業経営者からスタートアップ企業の経営者、そして公益団体代表も参加している。経済同友会は、様々なタレントで構成されており、より幅の広い韓国との関係づくりを

したいということで訪問した。今回はスタートであり、経済同友会として継続的に日韓関係を深くしていきたいと考えている。

(d) 祝辞：李昌洋（イ・チャンヤン） 産業通商資源部長官

- 韓日企業間協力の障害になっていた輸出規制も完全に解消され、経済、安全保障、文化、人的交流など様々な分野で関係改善が進んでいる。
- 先日訪韓された日韓議員連盟会長である菅義偉元総理は、韓日関係の変化は尹大統領の強いリーダーシップによると述べられたが、私はそれに加え、韓日の経営者の皆様が韓日関係改善を支持され、持続的に働きかけていただいたことも大きな力になったと考えている。
- 今日、世界は個別国家の力では対応しきれないグローバルな複合的危機に直面している。これを賢く乗り越えるためには、自由民主主義など普遍的価値を共有する韓日両国が緊密に連携し、共通の利益を増進させる必要がある。
- 尹大統領は、韓日関係が最も良かった時を超え、新しい未来を開拓しなければならぬと述べた。そのために、韓日経済界の皆様の取り組みが重要である。優れた製造技術を有する韓国企業と素材に強い日本企業の相互補完的協力によるグローバルサプライチェーンの強靱化、気候変動などグローバル危機に対応した両国の官民の緊密な連携、第三国への進出によるビジネス機会の創出とグローバル化課題への対応を通じた開発途上国との同伴成長など、新しいビジョンを共に模索する必要がある。
- こうした協力のムードを引き継いでいくために、将来世代の参加を拡大させていくことも重要である。
- 以上の取り組みを実行するため、政府の力だけでなく、全経連や経済同友会に代表される韓日両国の経済人の支援が必要である。具体的で目に見える協力プロジェクトを創出し、韓日関係改善の恩恵を両国の国民が体感できるよう、経済界の皆様にもご尽力いただきたい。政府としても最善を尽くす。

参考：各懇談の様（写真）

韓日議員連盟所属国会議員との昼食懇談会



(左) 集合写真



(右) 歓迎の辞を述べられる鄭鎮碩(チョン・ジンソク) 韓日議員連盟会長

IT系スタートアップ企業経営者との懇談会



(左) 集合写真



(右) 懇談の様

韓国貿易協会幹部との懇談会



(左)(右) 懇談の様

全国経済人連合会(全経連)主催夕食懇談会



(左)集合写真



(右)祝辞を述べられる李昌洋(イ・チャンヤン) 産業通商資源部長官



(左)(右)懇談の様